

ARCHITECTMADE

Child's Chair

Kristian Vedel

1923年生まれのKristian Vedelは、国立美術工芸学校を卒業した後同校で講師として勤め、1968年から1972年にかけてナイロビ大学の教授として就任。その後デンマークに帰国し、フリーランスデザイナーとして活動しました。

個性的な表情が人気のBIRD (1959)をはじめ、彼のデザインはKåreKlintの経済的、シンプル、機能的という理念に強い影響を受けています。

1952年に誕生した革新的なChild's Chairは、成型合板の本体に細長い穴があいており、はめ込む位置によって座面の高さが調節できるようになっています。また、ネジや釘、ボルトなどを一切使用していない理想的な構造です。椅子として、テーブルとして、または遊具として様々な用途で活用でき、楽しく長く使えるアイテムです。

「子供自身のファンタジーや心と身体にあわせたさまざまなニーズにアピールできる、椅子とタンブルスツールのコンビネーションをつくりたかった。」 - Kristian Vedel 1999



Kristian Vedelは、子供用家具のデザインにあたって、シンプルに、モダンに、そして何よりも子供が使うことを前提とし、いち早く取り組んだデザイナーのひとりです。単に大人用の家具をコピーするのではなく、子供の自然な動きに合わせて、座って遊べるユニークな家具を作ろうと考えたのです。

H: 41cm

D: 45x31cm



The CE mark indicates conformity with the essential health and safety requirements set out in European Directives for children's toys.

architectmade.com

